

## アイ・ビービューティカレッジ 学校関係者評価委員会議事録

本校講堂にて 2022 年 3 月 7 日 15 : 00 開催  
学校職員：泉理事長・井手校長・理容科野中主事・  
業界代表：株式会社 Poziravi 代表 松隈直也様  
株式会社美 ALL 代表 荒木美智子様  
地域代表：伊勢町自治会長 澤正昭様  
教育機関代表：佐賀女子高等学校教諭 西由美子様

理事長の挨拶の後、井手学校長より学校関係者評価委員会の趣旨の説明が行われ、奇譚ない意見をいただけるようお願いがあった。  
その後、評価項目ごとに自己評価を報告し、質疑応答の後、適切かどうか判断をいただいた。

1・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

1.教育理念・目的等	自己評価
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4
1-2 学校の特色は明確か	4
1-3 社会のニーズを踏まえた将来像を抱いているか	4

1-1.佐賀県の理容・美容の組合が協力して設置した学校であるため、現場で必要とされ、長く続けられる人材の育成に業界とともに取り組んでいる。

○理美容業界で長く働ける人材の育成の実績

離職率 2016年卒業生 7% 2017年卒業生 10% 2018年卒業生 6%

1-2.少人数制の特性を生かし、学生一人ひとりの到達レベル把握し、「就職のその先」を起点にしたバックキャスト思考で少しでも早くスタイリストになるための教育を行なっている。

1-3.訪問施術や福祉理美容の増加が見込まれるため、ニーズに柔軟に応えられるよう理容と美容の2つの国家資格の取得を推進している。

○Wライセンスの占有率

Wライセンス比率 2019年度入学 58.1% 2020年入学 52.9% 2021年入学 83.9%

■学校関係者の評価・意見 [ 適切 2・不適切 1・未記入 1 ]

・Wライセンス比率が高いのは学校の努力の結果と思う。

不適切・未記入の理由

・就職のその先を考えた教育/Wライセンスの増加/離職率の低さなど評価できる。自己評価5が適切では。

・Wライセンス増加と離職率の改善は努力の証なので自己評価5が適切。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

2.学校運営	自己評価
2-1 目的に沿った運営方針は定められているか	4
2-2 方針に沿った事業計画は定められているか	4
2-3 意思決定機能は明確か、機能しているか	3
2-4 人事制度等は整備されているか	3
2-5 情報公開は適切に行われているか	4
2-6 情報システム化など業務の効率化が図られているか	3

2-1. 学生募集力と教育力は連動しており2つの視点から毎年計画を定めている。

2-2. 学生募集計画をもとに中期事業計画を策定している。

2-3. 意思決定機能について「ほぼ適切」から改善されていない。問題点や改善点を明らかにする必要がある。指示・命令系統の確認、上司に対する報告連絡相談の徹底及び業務範囲・区分の再確認（責任の範囲）など、教職員の組織に対する理解が不足しているため個人面談を実施する。

2-4. 新しい給与テーブルは作成済みで、3月の国家試験後に教職員の個人面談を実施します。

2-5. ホームページで情報公開を行なっている。

2-6. 業務のデジタル化が進んでいない点について、組織規模や業種特性を含めて検討する。

#### ■ 学校関係者の評価・意見 [適切4・不適切0]

- ・ 適切と思います。
- ・ 職員の努力に報いるために給与アップの原資として、学費のアップを考えても良いのではないかと。サロンも値上げしているが、サービス内容が良ければお客は離れない。
- ・ 業界自体が適切な報酬になっていない。業界も努力しなければと感じる。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

3.教育活動	自己評価
3-1 各科目の到達レベルは明確に定められているか	4
3-2 業界と連携しカリキュラムの改善を行っているか	4
3-3 体系的なインターンシップ制度はあるか	4
3-4 成績評価・進級卒業判定の基準は明確か	4
3-5 資格取得に関する指導体制は十分か	4
3-6 優れた教員を確保しているか	4
3-7 教職員の研修などが適切に行われているか	4

- 3-1.国家資格を確実に取得するための到達レベルは明確に示されている。
- 3-2.提携サロン制度により業界の声を反映したカリキュラム改善に取り組んでいる。
- 3-3.サロンでの実務実習時間をタイミングや目的を踏まえ体系的に増加させている。
- 3-4.国家資格取得が最低限必要なため成績判定等は明確にある。
- 3-5.専門コースによる民間資格取得も含め指導体制は機能している。
- 3-6.非常勤講師を含めて優れた教員の確保努力をしている。
- 3-7.理美容師養成施設として要件を満たす教員の育成を行なっている。

#### 課題 接客力（共感力・話題力）を高める体系的なカリキュラムの推進

- ・3学期よりポートフォリオを作成させ自己の技術やセンスを振り返る時間をとっています。次年度からは SNS へ積極的にアップすることで情報発信力を高めます。
- ・コロナ禍でサロン実習が計画通り実施でなかったため、今後は適切な補完手段の検討が必要。

#### ■学校関係者の評価・意見 [適切2・不適切0・未記入2]

- ・学生のことをよく考えていただいているのを感じます。
- ・教育の努力が学生指導に効果的に反映されていると感じます。

#### 未記入の理由

- ・3-1.3-6.3-7について国家資格全員合格の実績から、自己評価は5が適切
- ・美容師を辞めていない離職率の低さは教員の強さゆえ。3-6.3-7自己評価は5が適切ではないか。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

4.学修成果	自己評価
4-1 就職率の向上は図られているか	5
4-2 資格取得率の向上は図られているか	5
4-3 退学率の低減が図られているか	4
4-4 卒業生の状況を把握しているか	4

4-1.学生一人ひとりに対して個性や希望を元にサロンを紹介することで、希望するサロンへの就職率 100%を達成している。

4-2.2021年の国家資格は、理容・美容ともに 100%合格。

4-3.2021年入学生の内美容科 1名退学

4-4.2020年卒業生からサロンでの業務状況を定期的に報告してもらいブログで発信している。

■学校関係者の評価・意見 [適切 4・不適切 0]

- ・就職率、合格率ともに 100%であり適切
- ・ブログ（卒業生のサロン日記）もまめにアップされており評価できる。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

5.学生支援	自己評価
5-1 生活指導に対する体制は整備されているか	4
5-2 保護者と適切に連携しているか	4
5-3 卒業生の支援体制はあるか	4
5-4 高校等との連携による職業教育の取り組みはあるか	4

5-1.生活指導については担任を中心に全学的にサポートしている。

5-2.保護者への定期的な成績通知のほか、出席状況や就職指導など必要に応じて連携している。

5-3.就職先を訪ね状況を把握するなど、卒業生に対する積極的な支援を行なっている。

5-4.佐賀女子高校美容コースやサポート校への講師派遣を行なっている。

■学校関係者の評価・意見 [適切4・不適切0]

・佐賀女子高校美容コースでは、大変良く指導していただいています。満足しております。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

6.教育環境	自己評価
6-1 施設設備は十分に整備されているか	3
6-2 防災に対する体制は整備されているか	4
6-3 感染症に対する体制は整備されているか	3

6-1.学習に必要な設備は整備されているが、少人数制を維持しながら定員の充足を図るために計画的な整備計画が必要。

6-2.2021年12月3日に避難・消防訓練を実施。毎年実施。

6-3.新型コロナ感染症拡大防止の行動指針とチェックリストを作成し実施している。

- ・罹患者が出た場合は、個人を特定できない内容で速やかに情報を公開している。
- ・「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（文部科学省）」等に準じて、規定を作成するかを含めて今後の課題

■学校関係者の評価・意見 [適切4・不適切0]

・教育環境整備についてよく努力されていると思います。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

7.学生の受け入れ募集	自己評価
7-1 学生募集は適切に行われているか	4
7-2 学納金は適正・妥当に設定されているか	4
7-3 入試は公平・公正に行われているか	4
7-4 高校等への情報提供は適切に行われているか	4

7-1.学生募集は進路検討者の立場に立ち適正かつ適切に行なっている。

7-2.学納金は道具材料費も含め適切に設定している。

7-3.アドミッションポリシーを定め公平・公正な入試を行なっている。

7-4.理容師・美容師の業務実態など、高校への情報提供を適切に行なっている。

■学校関係者の評価・意見 [適切4・不適切0]

- ・適切な評価とだと思えます。
- ・佐賀県内の美容師希望者は少なくない。福岡の学校にはない特色をアピールして学生数拡大を測って欲しい。やはり学生がいての学校です。



・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

8.財務	自己評価
8-1 経営基盤は安定しているか	3
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものか	4
8-3 会計監査は適切に行われているか	4
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4

8-1.経営基盤の安定には募集定員の充足が必要だが現状では未達なため、地方の小規模校に即した学生募集活動に引き続き尽力する。

8-2.教育の質を向上するための収支計画が課題。

8-3.会計監査は外部により適切に行なっている。

8-4.財務情報はホームページで公開している。

■ 学校関係者の評価・意見 [ 適切 3 ・ 不適切 0 ・ 未記入 1 ]

未記入の理由

- ・ 8-3.会計監査は外部に委託しており、自己評価は5が適切では。

・ 5 = 大変適切 ・ 4 = 適切 ・ 3 = ほぼ適切 ・ 2 = やや不適切 ・ 1 = 不適切

9.法令等の遵守	自己評価
9-1 設置基準等は遵守されているか	4
9-2 個人情報保護の対策は適切か	4
9-3 自己評価の実施と改善を行っているか	4
9-4 自己評価結果を公表しているか	4

9-1.専修学校設置基準および理美容師養成施設としての基準を遵守している。

9-2.2021年度中に改訂した個人情報保護規定に関して教職員研修を行う。

9-3.2019年度より自己評価の妥当性を評価する学校関係者評価を行なっている。

9-4.自己評価結果はホームページで公開している。

■ 学校関係者の評価・意見 [ 適切 3 ・ 不適切 0 ・ 未記入 1 ]

未記入の理由

- ・ 法令等の遵守については全て自己評価 5 で良いのではないかと。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

10.社会貢献・地域貢献	自己評価
10-1 学校の特徴を生かした社会貢献を行なっているか	3
10-2 地域に対する教育訓練等を行なっているか	3
10-3 学生のボランティア活動を奨励しているか	3

10-1.老人ホームや保育園などの施設訪問は行なっているが計画的ではない。

10-2.公共職業訓練の受託を行なっているが利用者は数名程度。

10-3.高校の文化祭支援などのボランティア活動があれば随時参加を推奨している。

#### 課題

コロナ禍においてどのような形で社会貢献ができるのか検討。

#### ■学校関係者の評価・意見 [適切4・不適切0]

- ・文化祭支援、ビューティショーの支援などぜひよろしくお願いします。「身近な学校」を感じられるようになります。
- ・コロナ禍ではありますが、地域清掃などできることを実践していただければと思います。

#### ■アイ・ビービューティカレッジの学校運営について総合的なご意見をお願いします。

- ・多くの学生が集まり、永続的に発展していただきたい。
- ・アイビーの強みは教員全員の能力の高さ、人ゲネ浴の教育だと思えます。
- ・大変質の高い教育をされていると思えます。学生との距離が近く、個に寄り添う指導をされているのを、学生を見れば分かります。
- ・2022年度重点課題についても良い結果になるように期待します。

## 1.2022 年度に重点的に取り組む課題

A.意思決定機能について「ほぼ適切」から改善されていない。問題点を明らかにし改善する。

- ・ 個人面談を中心に職員が感じている問題点を明らかにする。

B.人事考査について職員の理解が低い状態を改善する。

- ・ まだ未実施なので理解が低い状況。実施に伴い理解を深めてもらう。

C.業務のデジタル化が進んでいない点について組織規模の問題や業種特性を含めて検討する。デジタル化の必要性は感じているものの、小規模校でどこまで必要かどこまでやれるか検討課題。電子化、最適化については順次着手していく。新たな価値化（デジタルトランスフォーメーション）に関しては今後の検討課題。

D.接客力（共感力・話題力）を高める体系的なカリキュラムの検証

- ・ ポートフォリオの作成、SNS で積極的な情報発信を順次実施し検証する。

E.経営基盤を安定させるため学生募集活動を強化する。

F.防災・感染症について規定の改正

- ・ 火災、地震、水害などの自然災害発生時に、学生、職員の安全をどのように確保するか行動基準を再確認
- ・ 災害時に持ち出す学籍などの書類等を再確認し、担当者と避難場所を明確化する。
- ・ 感染症対策の上位概念として、クラスター発生時の対応や休校の判断などを明文化する

G.ボランティアなどの社会貢献活動

- ・ コロナ禍により 2021 年度も活動を自粛しています。
- ・ 教育的観点と学生募集の 2 視点で地域貢献やボランティア活動の検討する。